

ワールドワイド携帯電話四半期動向

2017年2月15日報告

■ 2016年4Qの世界の携帯電話市場概況 ■

2016年4Qの端末販売状況

季節需要期から4Qの端末需要は増加し、前期比16%の増加になった。4Qの販売を底上げたのは欧米のクリスマス需要と中国の旺盛な需要拡大になる。

欧米など成熟国はミッドエンドからハイエンドの販売構成が高く、4QはiPhoneの独壇場になった。2007年6月にスタートモデルiPhone 2Gを投入して以降、39期を擁して初めてSmartphone分野でトップメーカーの座を射止めた。

4QはAppleにとって記念すべき四半期になり、Apple全社の売り上げ、iPhoneの販売金額、出荷台数とも過去四半期最高を達成した。iPhone7のリリースからiPhoneの限界説が囁かれていたが、販売実績で不安を一掃したことになる。2017年はiPhone参入10年の節目に当たるため新機軸の期待も高まり、Smartphone市場はAppleを中心に動くことが確実になった。

四半期過去最高を記録したのはAppleに留まらず、中国Huawei、OPPO、Vivoも4Qで過去最高の出荷台数を達成した。3社とも中国の内需で出荷台数を伸ばし、海外向けで底上げを図る形で出荷台数を伸ばした。Huaweiが北米を除くグローバルで出荷を増加させたのに対して、OPPO、Vivoは初めてインド向け出荷が上乘せされた。両社とも4QではLenovo、Xiaomiに続き、初めてインドで上位シェアに食い込んだ。

インドの4Qはインド政府による高額紙幣の廃貨が影響してSmartphone需要は一時的に後退したが、中国メーカーが一斉に現地生産したため、Smartphoneでは中国メーカーがインド国産メーカーを駆逐し、シェア構造を一転させた。Lenovo、Xiaomiはオンラインを武器に高いシェアを獲得、OPPO、Vivoは独自の小売り展開でオフライン市場に浸透した。

中国メーカーは中国国内の需要飽和に直面し、海外に活路を求めているが中国、米国に次ぐ3番目のインド市場で頭角を現しており、2017年もさらに市場占有率を高めるものとみられる。

中国メーカーを中心にインド生産が拡大することで、インドが端末生産のハブになる可能性が高く、将来はインドを含む南アジアに留まらず、中東、アフリカ向けの生産拠点に変貌することも十分考えられる。

インドの端末生産は2012年度(2012年4月-2013年3月)にNokiaが生産をリードし、現地生産全体で1.8億台を記録した。Nokia撤退以降生産は減少し、2014年度は5,000万台まで下げ、2015年度はSmartphoneシフトとアセンブリを含む現地生産化の機運が高まりから1億台まで生産数量は回復した。2017年度はインド政府の現地生産奨励策から2億台まで生産を拡大する見通しである。

インド政府はインドに流通する端末 1 台当たり諸々の課税として店頭価格の 12%程度を徴収している。現地生産に移行することで奨励金を付与することも政府予算案 (Union Budget 2017) として決定しており、インドの現地生産を一層後押しするものとみられる。現在、現地生産の端末 1 台当たり 26 ルピーの奨励金案が決定している。

1-3 月の出荷、販売見通し

1-3 月期のフィーチャーフォンを含む端末販売台数は季節性から前期比 14%減を見込んだ。4Q で過去最高の出荷台数を記録した Apple は一転大幅減が予想される。前期並み出荷が予想されるメーカーはミッドエンド新モデルとフラグシップ Galaxy S8 を発売する Samsung と騰勢を強める OPPO、Vivo の 3 社で、大半のメーカーは前期比 2 桁台の出荷減少が予想される。

下表は判明した各社の新モデルのリリース状況で、4Q で新モデルを大量に投入した中国メーカーの新機種投入数は少ない。春節終了後に部材調達を始め、3 月に生産を開始し 4 月に注目モデルをリリースするスケジュールになるものとみられる。

1Q の新モデルリリース予定況

グローバルメーカー			中国メーカー		
Asustek	Zenfone 4	2017年5月	Coolpad	Cool S1	2017年1月
HMD Global	Nokia 150/150 Dual SIM	2017年1月	Huawei	Mate 9 Pro	2017年1月
HMD Global	Nokia 6	2017年1月	Lenovo	ZUK Edge	2017年1月
HMD Global	Nokia P1	2017年3月	Lenovo	Moto G5/Moto G5 Plus	2017年2月
HMD Global	Nokia 5	2017年3月	OPPO	Find 9	2017年3月
HTC	U Play	2017年2月	Vivo	V5 Plus	2017年1月
HTC	U Ultra	2017年3月	Xiaomi	Redmi Note 4	2017年1月
LG	K3、K4、K8、K10 (2017)	2017年1Q	ZTE	Blade V8	2017年2月
LG	Stylus 3	2017年1Q	ZTE	Blade V8 Pro	2017年2月
LG	G6	2017年4月			
Samsung	Galaxy A3	2017年1月			
Samsung	Galaxy A5	2017年1月			
Samsung	Galaxy A7	2017年1月			
Samsung	Galaxy J7 (2017)	2017年2月			
Samsung	Galaxy S8	2017年3月			

2016年4Q(10-12月)調査結果 目次

1	2016年4Q(2016年10-12月)の端末販売の概況	4	7.6.	その他中国メーカー	32
2	1-3月の出荷、販売見通し	7	7.7.	Mediatekの4Qの売り上げは前期比12%減	34
3	2016年4Qの端末販売動向	8	8	端末各社のお荷計画	35
4	2016年4Qのメーカーの動向	9	9	2016年4Qのセルラー加入状況	36
4.1.	グローバルメーカー / AppleがSamsungを上回り初のシェアトップへ	9	10	地域別累積加入推移(四半期別)	36
4.2.	新興メーカー / Huawei、OPPO、Vivoは四半期過去最高の出荷台数を記録	10	10.1.	国別加入推移	39
4.3.	4Qのインドは需要が急落、メーカーシェアが一変	11	10.1.1	アジア	39
5	端末販売台数推移(データ編)	13	10.1.2	中近東	39
5.1.	四半期別全端末の販売台数推移	13	10.1.3	西欧	40
5.2.	全端末の年間販売台数推移	14	10.1.4	東欧	40
5.3.	四半期別Smart Phoneの販売台数推移	15	10.1.5	北米/中南米	41
5.4.	Smart Phoneの年間販売台数推移	16	10.1.6	アフリカ	41
5.5.	四半期別フィーチャーフォンの販売台数推移	17	11	方式別加入推移(四半期別)	42
5.6.	フィーチャーフォンの年間販売台数推移	18	12	参考 / 2015年末の加入数値確定に伴う加入データの修正	45
6	グローバルメーカーの2016年4Q動向	19	12.1.	地域別	45
6.1.	Samsung	19	12.2.	方式別	47
6.2.	Apple	21	13	年間加入推移	49
6.3.	LG	23	13.1.	地域別	49
6.4.	ソニーモバイル	25	13.2.	方式別	50
6.5.	HTC	26	14	主要オペレーター加入者推移	51
6.6.	その他のグローバルメーカー	27	14.1.	アジア	51
7	中国メーカーの2016年4Q動向	29	14.2.	西欧	52
7.1.	Huawei	29	14.3.	東欧	53
7.2.	Xiaomi	30	14.4.	北米	54
7.3.	OPPO	31	14.5.	中南米	54
7.4.	Vivo	31	14.6.	中東/アフリカ(アフリカ)	55
7.5.	Lenovo	32	14.7.	主要オペレーター加入者数推移の世界全体に占める推定比率	55